



「防災の日」

9月1日は何の日かご存知ですか？そうです。「防災の日」です。

大正12年9月1日 午前11時59分、震度7の大地震が関東地方を襲い、142,807名の尊い人命を失いました。「防災の日」はこれを教訓として、政府・地方公共団体はもとより、広く国民が認識を深め、災害に未然防止と被害軽減に役立つための目的で制定されました。

私たちの住む旭区では今のところ大きな災害は起きていませんが、いつ災害が起きても対処できるように、避難場所の確認や備蓄食料などを備えておきましょう。

災害用の備蓄食料は、最低3日分は用意して下さい。

また、福祉用具にも災害用として車いす・排泄処理袋などがありますので、ご参考まで。



ポータブルトイレにも使用可能

災害時はもちろん、介護用やアウトドア用にも！

便や尿の水分を素早く吸収・凝固

ここが違います！

精製ワンタッチ結核錠

ワンタッチ結核錠に引っ掛け機構がプラス

乾燥剤5秒！

特徴（新タイプ）

- この結核錠は、従来のとは違い、操作が簡単。片手で片手でワンタッチでワンタッチ結核錠が可能です。
- 結核錠（消費用）
- この結核錠は、従来のとは違い、乾燥剤を素早く吸収・凝固して、便の水分を凝固。

緊急時や断水時の必需品！

＜使用方法＞

- ワンタッチ結核錠は、付いている紐をあらかじめ手前に出した状態でトイレの中に入れ、袋の中の水、便を凝固させることができます。使用後は袋を下向きにして、袋の中に乾燥剤を入れた袋に入れてください。

洋式・和式、どちらもOK!



介護のはてな？ 第24回「癌と介護」

介護保険は原則 65歳からが対象ですが、特定の病気にかかった場合は 40歳から適用されます。末期癌もその一つ（末期がん…医師が、一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断）。自宅療養では、まずは医療保険による訪問看護が受けられますが、40歳以後なら介護保険申請し、ベッドレンタルや、住宅改修、訪問介護、訪問入浴等の介護保険サービスが利用できます。

また、大事な情報として「緩和ケア」があります。疼痛緩和だけでなく、倦怠感や吐き気、気持ちの落ち込みに対し、それらを和らげ、穏やかな自分らしい生活が送れるように、複数の専門職がチームを組んで支えます。2008年から「緩和ケア」を広く知ってもらうためのオレンジバルーンプロジェクトが発足し活動を続けているそうです。オレンジ色の風船のイラスト、ご覧になった方もいらっしゃるかな。訪問診療の医師や訪問看護師さんの中にも、緩和ケアの経験を積んだ方々が増えてきています。

「介護」や「緩和ケア」、進化してきた時代を上手に利用して、今を大切に生きてすごしたいものです。窓に広がる空をみあげながら…



これは便利!! 便利なビヨヨン

引っ張れば無理なく伸びるので、携帯電話をかばんにくっつけるグッズとして最適！大切な個人情報がかばんから落ちたり無くなったりは厳禁です。耳にあてても引っ張られ感がないし、このビヨヨンを手繰れば、放り込んであった携帯がかばんの中からスルッと出てきてくれます。100円ショップにて。

